

Nagi Contemporary Arts Project

奈義 コンテンポラリー アーツ プロジェクト

参加作家

Charlotte Vitaioli
1986年生まれ、レンヌ在住 テキスタイル作品
2018年 個展「Garderas-tu cet éclat?」(Fondation Zervos/ヘズレー FR)
2020年 個展「La Ballet Tribalesque」(La Station/ニース FR)

飯沼洋子 & Arthur BARBE
飯沼洋子：1985年大阪生まれ、京都在住
Arthur Barbe：1992年フランス・ブルジュ生まれ、在住 インスタレーション作品
2019年 第7回中之条ビエンナーレ(四万薬局/群馬)
2020年「Charnière: Chôtsugai」
(Galerie La Transversale/ブルジュ FR、2023年に延期)

Michail Michailov
1978年ブルガリア生まれ、ウィーンとパリ在住 絵画作品
2018年 Drawing Now Paris Art Award 受賞
2019年 個展「I am everywhere」(Drawing Lab Paris/パリ FR)

架菜梨案
1987年大阪生まれ、東京在住 絵画作品・陶作品
2018年 Cabane Gergina 賞 受賞
2019年 個展「Kiss」(ZEN FOTO Gallery/東京)(2011年以降毎年)

Bertrand Dezoteux
1982年生まれ、パリ在住 映像作品
2017年 « Discorde, fille de la nuit » (Palais de Tokyo/パリ FR)
その他 ニューヨーク映画祭、トロント国際映画祭等での作品上映

Enzo Certa
1989年ポルドー生まれ、パリ在住 立体作品
2019年 Higer Nadonal School of Fine Arts Paris 卒業
2019年「Collecve exhibidon」(Colart studio/ロンドン GB)

太田三郎
1950年山形県生まれ、岡山県在住
2013年 創造する伝統章 受賞
2019年 個展「太田三郎——此処にいます」(岡山県立美術館/岡山)

七搦綾乃
1987年鹿児島生まれ、広島県在住 彫刻作品
2018年 個展「アベルト 08 七搦綾乃」(金沢21世紀美術館/金沢)
2021年「Sustainable Sculpture」(KOMAGOME SOKO/東京)

畑山太志
1992年神奈川県生まれ 絵画作品
2018年「網膜と記憶のミトロジー」(セゾン現代美術館/長野)
2020年 個展「素知覚」(EUKARYOTE/東京)

同時開催

奈義町現代美術館にて
当企画代表の花房紗也香の個展が開催されます。

「窓枠を超えて」
2021年10月9日(土)～2021年12月19日(日)
室内風景をモチーフとして、内側と外側が入り交じる絵画作品を制作する
花房紗也香の展覧会を開催。
自己の内在性と他者との関係を絵画で探求することを目的としながら、観る
者に画面の内側と外側の双方を認識させるように同時に働きかけてくれる
作品展。ポーラ財団助成によるフランス留学から帰国後、県内では初個展。

お問い合わせ

〈Mail〉 gallery.fixa@gmail.com
〈Website〉 https://nagicap.tumblr.com/



※新型コロナウイルスの流行状況により、開催の変更などにつきましてはHPで随時告知してまいります。
※ご来場の皆様におかれましてはマスクの着用、消毒、体調管理、距離の確保、連絡先の記入をお願いしております。ご協力をお願いします。
※イベントやアーティストの詳しい情報などはぜひHPをご覧ください。

奈義 コンテンポラリー アーツ プロジェクト

会場地図



①奈義町現代美術館
〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢441、
【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休み】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)・および祝日の翌日

- (A)JR津山線(所要時間:岡山より約1時間40分)
JR岡山駅→(津山線)→津山駅→(中鉄バス、タクシー)→美術館
- (B)智頭急行/智頭線(所要時間:新大阪より約2時間40分)
JR新大阪駅→(特急スーパーはくと)→智頭駅→(タクシー)→美術館
- (C)航空機(所要時間:岡山空港より約1時間40分)
岡山空港→(リムジンバス)→津山駅前→(中鉄バス、タクシー)→美術館
- (D)ハイウェイバス(所要時間:大阪より約2時間50分)
大阪駅発、新大阪駅経由→(中国縦貫自動車ハイウェイバス)→
美作インター停留所→(なぎバス、タクシー)→美術館

奈義町現代美術館からナギテラスまで徒歩4分、Gallery FIXAまで徒歩30分
※ナギテラス内観光案内所にてレンタサイクルがあります。合わせてご利用ください。

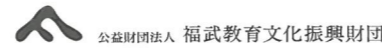
②Gallery FIXA
〒708-1315 岡山県勝田郡奈義町中島西 39-1、
【開館時間】10:00～18:00、【休み】月・火

③多世代交流広場ナギテラス
〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢 314、
【開館時間】9:00～17:00、【休み】月曜日(祝日の場合は翌日)

④Studio Moim
〒708-1305 岡山県勝田郡奈義町行方 124-2、
【開館時間】10:00～17:00、【休み】月・火・水・木・金 ※予約制
ご予約、お問い合わせは studioimoim124@gmail.com にお願致します。

主催：Nagi Contemporary Arts Project、Nagi Art Space FIXA
助成：岡山県、公益財団法人福武教育文化財団、公益財団法人野村財団
後援：奈義町、在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本

岡山県アーティスト滞在・交流事業
岡山県では、アーティストが地域に短期滞在し、交流を進めながら地域資源を活用した作品の制作を行うことで、県民の皆さんに優れた芸術文化を身近に接する機会を提供しています。



NOMURA 野村財団



Bundesministerium Inneres

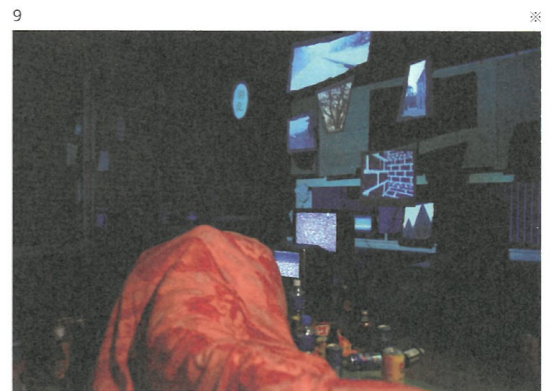
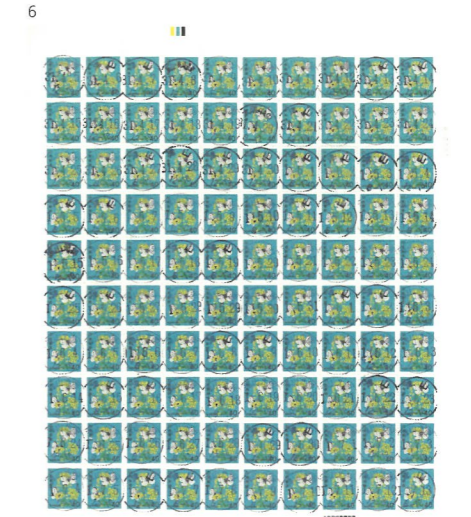
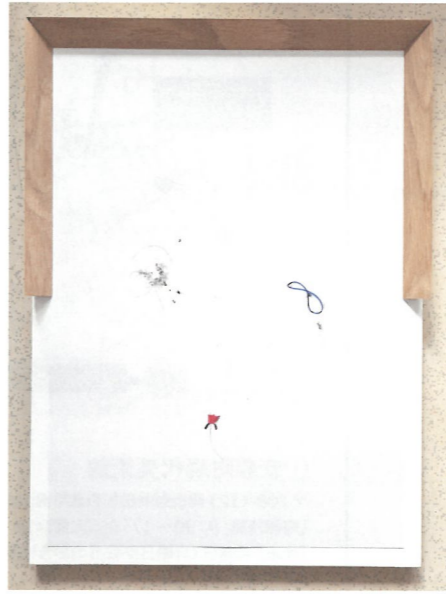
NAGI CONTEMPORARY ARTS PROJECT

2021年10月9日(土)～11月7日(日)

2021年10月9日(土)～11月7日(日)

Michail Michailov	架菜梨案	
Charlotte Vitaioli	Bertrand Dezoteux	
Enzo Certa	太田三郎	七搦綾乃
畑山太志	飯沼洋子+Arthur Barbe	
奈義町現代美術館	〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢441 【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで) 【休み】月(月曜日が祝日の場合は開館)・および祝日の翌日	
Gallery FIXA	〒708-1315 岡山県勝田郡奈義町中島西 39-1 【開館時間】10:00～18:00 【休み】月・火	
多世代交流広場ナギテラス	〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢 314 【開館時間】9:00～17:00 【休み】月曜日(祝日の場合は翌日)	
Studio Moim	〒708-1305 岡山県勝田郡奈義町行方 124-2 【開館時間】10:00～17:00 【休み】月・火・水・木・金 ※予約制	

主催：Nagi Contemporary Arts Project、Nagi Art Space FIXA 助成：岡山県、公益財団法人福武教育文化財団、公益財団法人野村財団 後援：奈義町、在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本



1. 畑山太志『生まれかわり』 素材：キャンバス、アクリル、サイズ：80.3×60.6cm、制作年：2020
 2. Michail Michailov『dust to dust#91』 素材：color pencil on paper、サイズ：46×46cm、制作年：2020
 3. Enzo Certa『Charles Quintの冠』 素材：石膏・木・銅・金箔・金箔、制作年：2020
 4. Charlotte Vitaïoli『Voir les bateaux qui Chauvent』 素材：Painting on silk and wool、サイズ：280×240cm、制作年：2017
 5. 架菜梨案『あなたと触れ合っ たら広がる』 素材：キャンバス、油彩、色鉛筆、サイズ：130.3×130.3cm、制作年：2019

6. 太田三郎『Date Stamps No.96, 5 April 2019 to 13 July 2019』 素材：切手、清印、制作年：2019
 7. Bertrand Dezoteux『Harmonie』 素材：絵巻、時間：20分37秒、制作年：2018
 8. 七搦綾乃『小さな部屋』 素材：布、サイズ：H45×W40×D40cm、制作年：2017
 9. 飯沼洋子& Arthur BARBE『Antre Soie』 素材：インクステーション、制作年：2019

※アーティスト・イン・レジデンスで制作した作品を公開します。

Nagi Contemporary Arts Projectは岡山県奈義町で開催される現代アートの展覧会とアーティスト・イン・レジデンスによる現代美術展です。

初開催となる今回は奈義町現代美術館、Gallery FIXA、ナギテラス、Studio Moimの4会場で日本とフランスで活動する作家9組による文化の「グラデーション」が表出する展示プログラムを試みます。

レジデンス・アーティストの飯沼洋子+Arthur Barbelは飯沼洋子が奈義町で1ヶ月間現地滞在し、Arthur Barbelはオンラインでやりとりを行います。本来であれば2人で来日予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりこのような形での実施となりました。しかし、悲観するのではなく今だからこそ考えられる新しい制作プロセスとして挑戦する彼らの作品を公開します。

日本とフランスは美術史において互いに影響を与え合ってきました。今回の展覧会の中でも、フランス美術に影響を受けた日本の作家や、日本の巨匠から影響を受けたフランスの作家の作品が展示されます。過去から続いてきた文化的な交流が、現代の作家達にどのような影響を与えているか、異なるバックグラウンドを持つ作品が奈義町の里山の自然景観の中で混じり合う展示プログラムを企画しています。

奈義町は岡山県北部に位置し、人口6000人程度の小さな町です。町内には磯崎新、荒川修作、マドリン・ギンズ、岡崎和郎、宮脇愛子らの建築家と美術家が共同で建築した第3世代美術館の奈義町現代美術館を有します。奈義町の所在する岡山県は3年に1度開催される瀬戸内内芸術祭の会場でもあり多くの美術ファンが訪れます。地方だからこそできる文化発信、またアーティストにより運営、企画される本展示ならではの視点をお楽しみください。



那岐山は水ノ山後山那岐山国定公園にも指定されている標高1,255mの中国山地の秀峰で、奈義町はその麓に広がる町です。今回の展覧会の会場の一つでもある奈義町現代美術館は那岐山を借景としており、展示室「大地」の中心軸は、那岐山の山頂に向かっています。奈義町のシンボルである那岐山のある風景と外部からのアーティストの視点が変わることによって新たな「場所の特性」が表出します。

キュレーター

花房 紗也香 Hanafusa Sayaka

1988年ロンドン生まれ、2014年多摩美術大学大学院絵画科修士前期課程修了。2018年に岡山県奈義町へ移住し、名前を鈴木から花房姓と変える。地域の保育園や幼稚園にてワークショップを行ったり、現代アートの企画を手掛けながら作家活動をしている。主な展覧会 2021 個展『inside and outside』(MARUEIDO JAPAN/東京)、2021 1氏賞奨励賞を受賞 2018 個展『Collecting time』(Usine Kugler/ジュネーブCH)、2015 個展『ARKO』(大原美術館/岡山)、2013『VOCA展 現代絵画の展望』(上野の森美術館/東京)にて大賞を受賞。

